

## 令和4年2月（第1回）光市教育委員会会議（書面開催）の要旨

### 1 書面開催の経緯

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、本市が山口県まん延防止等重点措置の重点措置区域となっていることなどを鑑み、感染拡大防止のため、令和4年第1回教育委員会会議を書面により開催することとした。

### 2 書面開催の日程

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| (1) 開催通知・資料の送付 | 令和4年1月31日（月）まで       |
| (2) 質問等の受付期間   | 令和4年1月31日（月）～2月4日（金） |
| (3) 質問等の回答期間   | 令和4年2月 1日（火）～2月7日（月） |
| (4) 議決事項の回答期間  | 令和4年2月 1日（火）～2月8日（火） |
| (5) 議決日・承認日    | 令和4年2月 8日（火）         |

### 3 議 事

- 議案第1号 令和4年度光市一般会計教育費関係予算案について
- 議案第2号 光市スポーツ推進委員の委嘱について
- 報告第1号 光市民ホールの指定管理者の指定について
- 報告第2号 光市学校児童生徒等就学援助規則の一部改正について
- 報告第3号 光市学校児童生徒等就学援助規則実施規程の一部改正について
- 報告第4号 令和3年度光市一般会計補正予算（第9号）について
- 報告第5号 第2次光市教育振興基本計画（案）について
- 報告第6号 施設一体型小中一貫ひかり学園の新設に係る方針（案）について
- 報告第7号 第4次光市子どもの読書活動推進計画（案）について
- 報告第8号 区域外就学の承認について

### 4 質問等及び回答

- (1) 議案第1号 令和4年度光市一般会計教育費関係予算案について

#### (ア) 主な意見等

##### ① 意 見

長寿命化計画推進事業について、体育館の床のワックス等の剥離が目立ち、木材の劣化も見られる。早めの補修により大規模修理とならないよう、計画的に修繕を進めてはどうか。

##### ② 回 答

いただいたご意見を参考に、子どもたちの安全を確保するために適切な補修等を行

うとともに、長寿命化計画を踏まえ、塗装を含めた全体的な施設管理について、予防保全の考えを持って対応を図っていききたい。

③ 意見

公共施設内設備木質化事業について、香り豊かな素材や耐久性のよい素材を選定するなど、子どもたちが気持ちよく学べるよう検討してほしい。また、来年度実施する学校以外にも展開し、計画的・持続的な学校内の木質化等に取り組んでほしい。

④ 回答

いただいたご意見を参考に、子どもが快適に学校生活を送ることができるよう、設備の素材等の選定を検討したいと考えております。また、子どもたちが安心して快適に学習環境を整備するため、本事業をはじめとして、計画的・持続的な学校施設の木質化の取組を検討していききたいと考えています。

⑤ 意見

教育支援センター運営事業について、1名増員の予算確保ができたのでしょうか。

⑥ 回答

令和4年度は、図書館内に新たに「教育支援センター」を設置することとし、スクールライフ支援員を1名増員する予定で予算を計上しています。

⑦ 意見

学校給食センター冷凍庫更新について、①冷蔵庫の耐用年数を何年としているか、②冷凍庫購入時の仕様書は定めているのか、の2点を示してほしい。

⑧ 回答

①税法上の耐用年数は6年、メーカーの補修用性能部品の保有期間は製造終了後9年です。なお本機器は旧給食センターから移設した2010年製の機器で、約12年使用しています。

②使用する場所や用途により仕様を定めます。本機器の更新については同サイズ、同機能を基準とし、仕様を定め入札による購入を行う予定です。

(2) 報告第7号 第4次光市こどもの読書活動推進計画(案)について

(ア) 主な意見等

① 意見

高校生等のアンケート結果を踏まえ、ぜひとも学校等へ電子図書館の利便性を広めていただき、今後は、だれでも、どこでも、手のひらにある図書館(電子図書館)の普及にも力を入れてほしい。

## ② 回 答

高校生に対するアンケートについては、市外から通学する生徒の割合もあると考えていますが、ご提言いただいたように、各高校とも連携を強化し、図書館及び電子図書館の周知だけでなく、利活用の促進を図りたいと考えています。

## ③ 意 見

電子図書館の本の選定については、どういった内容の本や、年齢層等をターゲットとしているのか。

## ④ 回 答

電子書籍では幼児から大学生までの学生と、仕事が忙しく来館できない勤労世代を念頭に、10代でも読める教養的な一般書や、長く読み継がれている名作を中心とした蔵書構成を考えています。

## ⑤ 意 見

本屋大賞や直木賞や芥川賞等の過去作品など、話題性のある本を登録することで、電子図書館への興味がわくのではないかと。

## ⑥ 回 答

図書館への電子書籍販売は、一般向けとは異なるため、各受賞作であっても、電子書籍として販売されていない場合や、販売時期や価格等の都合により、すぐには蔵書とならない場合もありますが、販売状況を把握しながら、電子図書館の充実を図りたいと考えています。

## 5 議決の結果

全ての議案について、全員一致で承認される。